

2020.9.30 制定
2020.11.30 改定
2021.4.23 改定
2021.7.9 改定
2022.3.31 改定

鹿児島県立短期大学 学生部長

新型コロナウイルス感染症等に関連する出席停止（公欠）の扱いについて

新型コロナウイルス感染症防止の観点から下記に該当する場合は、出席停止（公欠）とします。該当者は、すみやかに本学へ連絡のうえ、後日、公欠届を学生課に提出してください。

記

1 濃厚接触者として認定された場合

出席停止期間は、原則として感染者と最後に濃厚接触した日から起算して7日間（8日目解除）とする。ただし、4日目及び5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性が確認できた場合は、5日目に待機を解除できる。

濃厚接触者に該当するかどうかの判断は、保健所から判定された場合はそれに従うが、現在、保健所業務の逼迫によって判断されない場合もあるので、心配な場合は学生課に相談すること。

2 濃厚接触者として認定されていないが次の自覚症状等がある場合、感染が疑われる場合 出席停止期間は、学生の状態に基づき個別に設定する。 □

- ・ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状、嗅覚異常のいずれか
- ・ 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状 □
- ・ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く

※「重症化しやすい方」とは、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など））がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方

3 近親者や同居者が自宅待機中である場合、職場やアルバイト先等で感染の可能性がある場合 出席停止期間は、学生の状態に基づき個別に設定する。

4 新型コロナウイルス感染症に関連して、特に事情がある場合

出席停止等の措置・期間は、学生の状態及び相談内容に基づき個別に判断する。

5 新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種に関連して、特に事情がある場合

出席停止等の措置・期間は、学生の状態及び相談内容に基づき個別に判断する。

以上

(2021.4.23 付記)

付記1：上記，2もしくは3に該当する場合は，必ず，かかりつけ医等又は受診・相談センターに連絡を取り，検査の受検の必要性について確認すること。その際，電話記録等を必ず作成・保管すること。出席停止 期間は，上記医療機関等の判断に基づき，本学で設定します。

付記2：当面の間，通学や必要な用件（例えば就職活動の最終面接等）以外で，県内外を移動することは慎重に対応してください。やむを得ず緊急事態宣言対象地域，まん延防止等重点措置の実施地域へ移動する際は，事前に学生課へ届け出てください。(2022.3.31 削除) 出席停止や公欠にはなりません。帰鹿した時から原則7日間は自宅での待機をお願いします。また，上記以外の感染拡大地域についても不要不急の場合を除き往來を自粛してください。

付記3：上記4の新型コロナウイルス感染症に関連した事情として，たとえば「感染への不安」，「自身並びに同居家族への影響」などがあげられる。様々なケースが想定されることから，該当すると考える事情がある場合は，必ず，事前に教務課へ相談してください。なお，事後（欠席後）の申し出は認めません。

(2021.7.7 付記)

付記4：上記5の新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種に関連した事情として，たとえば「新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種する日，接種後の副反応（発熱，倦怠感，頭痛，筋肉痛，関節痛，悪寒，吐き気，下痢など）」があげられる。様々なケースが想定されることから，該当すると考える事情がある場合は，必ず，教務課へ相談してください。なお，ワクチンの接種に関連して公欠届けを出す場合は，接種済証明を提示すること。

(2022.3.31 付記)

付記5：「濃厚接触者」の目安は，以下の通りですが，保健所の判断がある場合はそちらを優先します。

- ・ 新型コロナウイルス感染者や感染が疑われる者と同居あるいは長時間の接触（車内，航空機内，職場等を含む）があった者
- ・ 適切な感染防護無しに新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を診察，看護若しくは介護していた者
- ・ 手で触れること又は対面で会話することが可能な距離（目安として2メートル）で，必要な感染予防策なしで，患者等と接触があった者

新型コロナウイルス感染症対応窓口

学生課：099-220-1112 内線 134, [gakuseika * k-kentan.ac.jp](mailto:gakuseika*k-kentan.ac.jp)

メールを送信する際は，上記アドレスの“*”を“@”に変更して送信してください。